

交運労協 FAX ニュース NO. 2

港区芝浦3 - 2 - 22 田町交通ビル3階 発行日 2008年12月16日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 交運労協 関 政治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

[12/15 パシフィック・ビーチ・ホテル従業員解雇撤回集会]

争議支援代表団派遣報告集会を開催！

解決要請署名 64,785 筆を持参！

AFL - CIOから連合へ、国際的取組みの拡がり！

昨日 18 時 30 分より、田町交通ビル 5F 会議室において「12/15 パシフィック・ビーチ・ホテル争議支援代表団派遣報告集会」を開催した。集会は、ITF を軸とする実行委員会の呼びかけで、交運労協、国際食品労連、連合等の協賛の形を取った。内容はハワイ、パシフィック・ビーチ・ホテル従業員 32 名の解雇に対して、AFL - CIO から連合へ支援要請。ITF も交運労協とともに支援態勢を整え、ハワイからの代表団受け入れ（2008.7.7 集会）や署名活動の展開、現地への日本側代表団の派遣等を行ってきた。本集会はそうした一連の取組み経過を報告するとともに、今後の闘いに向けて意思統一するために開催された。



「12.15 代表団派遣報告集会」風景
2008年12月15日19時、田町ビル会場

「ハワイへの代表団」

日程 2008年11月27日～12月4日

派遣者氏名

和田茂（ITF アジア太平洋部長）、藤木茂（全国港湾）、伊藤彰信（全港湾）、高須裕彦（一ツ橋大学）、青野恵美子（明治大学）

持参物 署名（6,4785 筆）

日本代表団の現地取組み内容

交運労協がパシフィック・ビーチ・ホテル争議の解決要請署名を 64,785 筆集める
日本からの代表団、現地の抗議集会に参加

ハワイ州ホノルル市のワイキキにある「パシフィック・ビーチ・ホテル」において、2007 年 12 月、組合支持者を中心に 32 名の労働者たちが不当解雇され、解雇撤回と組合承認、公正な労働協約の締結を求めて、労働争議が闘われています。

解雇から 1 周年を迎える 12 月 1 日、日本から国際運輸労連の和田アジア太平洋地域部長、全港湾の伊藤委員長を始めとする 5 名の代表団が現地を訪ね、ホテル前抗議集会に参加してきました。

交運労協が争議の解決要請署名を呼びかけ、11 月末までに、64,785 筆の署名を集めました。また、今回の代表団に参加できない連合とサービス連合からビデオメッセージをいただき、DVD を作成しました。今回の代表団はこの署名と DVD を持って、ホノルルを訪ねました。ホテル前での抗議集会へ参加し、ホテルの経営者への申し入れを行いました。経営側は署名の受け取りを拒否しましたが、代表団は強く抗議し、争議の早期解決を求めました。

さらに、ハワイ観光局、ホテル協会、日本の主要な旅行会社の現地事務所、州議会民主党議員団、争議を支援するハワイ州 AFL-CIO などを訪ね、ビデオメッセージを上映し、争議の早期解決へ向けて、協力を要請してきました。

12 月 2 日には、全米港湾労組(ILWU)のホールで、パシフィック・ビーチ・ホテルの労働者集会が開催されました。被解雇者と内部で闘っている労働者たちが多数集まり、相互に激励交流を行い、大いに盛り上がりました。1 年を越える闘いにもかかわらず、労働者たちが自信を持ち、非常に元気だったことが印象的でした。

11 月 4 日から 14 日に、NLRB(全国労働関係局 = 日本の労働委員会にあたる連邦政府組織)において、組合側の不当労働行為救済申し立てに関する審問が開かれ、被解雇者と内部の労働者が証人に立ちました。1 月 13 日には使用者側の証人尋問が行われ、3 月にも決定が出されそうな山場に来ています。

全米港湾労組は、このホテルのボイコットを呼びかけています。要請に応え、引き続き日本からの支援運動を強め、1 日も早い争議解決を勝ち取りたいと思います。

組合員のみなさんのご理解とご支援をお願い致します。

(パシフィック・ビーチ・ホテル争議支援代表団)